

# 報道資料

平成30年10月31日  
市町村振興課 吉川・中村  
内線(2254・2261)

## 平成29年度 県内市町村普通会計決算の概要

平成29年度の県内市町村の財政状況をお知らせします。

※今回の概要については、国の全国的な調査である「地方財政状況調査」の結果に基づき速報値としてとりまとめたものであり、数値については、今後変動する場合があります。

※本資料の数値については、表示単位未満四捨五入の関係により、一致しない箇所があります。

### I 平成29年度県内市町村普通会計決算の全体像

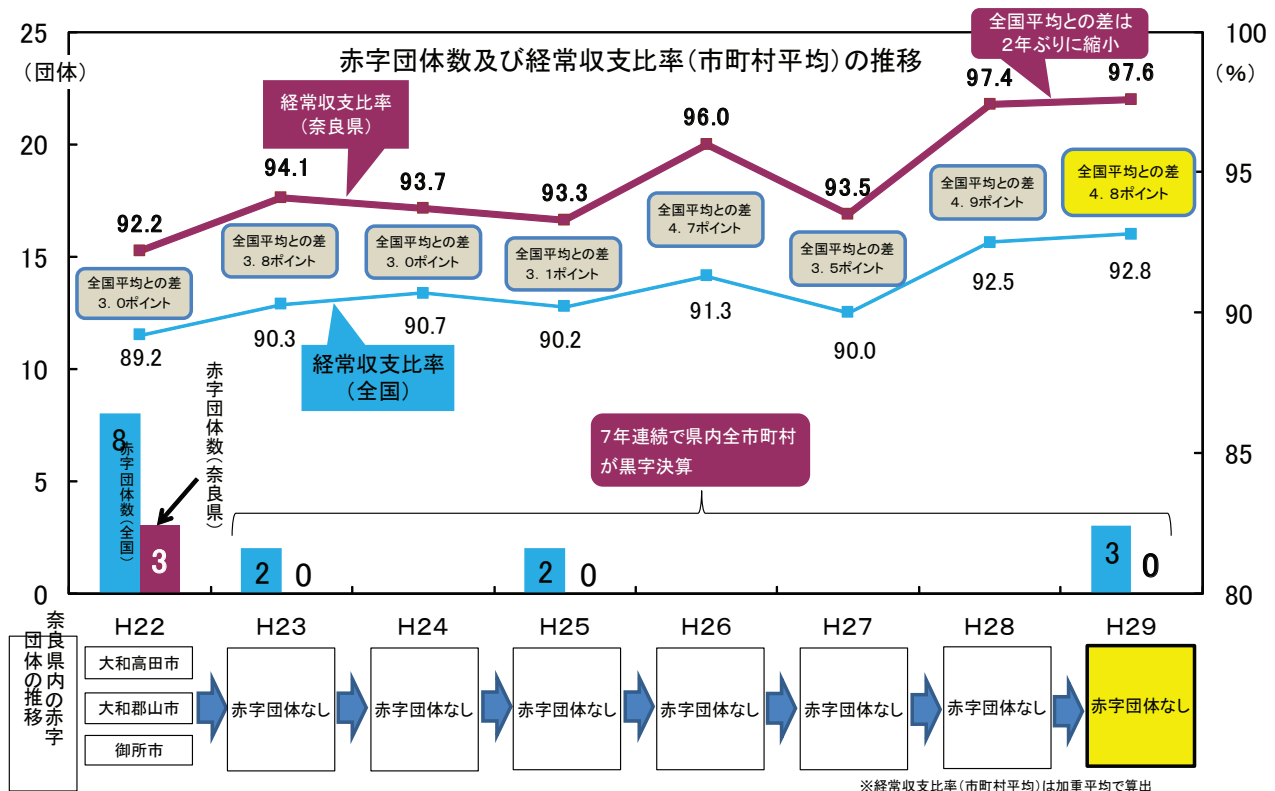
#### 7年連続で県内全市町村が黒字決算

別紙1

○平成23年度に全団体が赤字決算から脱却。以降、赤字団体はなく、平成29年度まで7年連続で全団体が黒字決算となった。

※全国では平成26年度から平成28年度までは全団体が黒字決算であったが、平成29年度決算では3団体が赤字決算となった。

○県内各市町村の決算規模は別紙1のとおり。



#### 経常収支比率(市町村平均)は2年連続上昇し97.6%

別紙2

○2年連続上昇し、前年度と比較すると0.2ポイント上昇。

○全国平均も0.3ポイント上昇し、全国平均との差は縮小したが、依然として全国平均を上回っている。

○経常収支比率(市町村平均)が前年度と比較して上昇した要因は、経常収支比率の分母を構成する経常一般財源等は地方税、株式等譲渡所得割交付金の増等により増加したが、それ以外

上に分子を構成する経常的経費充当一般財源等が扶助費、補助費等などの増等により増加したため。

○県内市町村の経常収支比率（市町村平均）改善のためには、決算規模の大きい各市の経常収支比率の改善が特に重要。

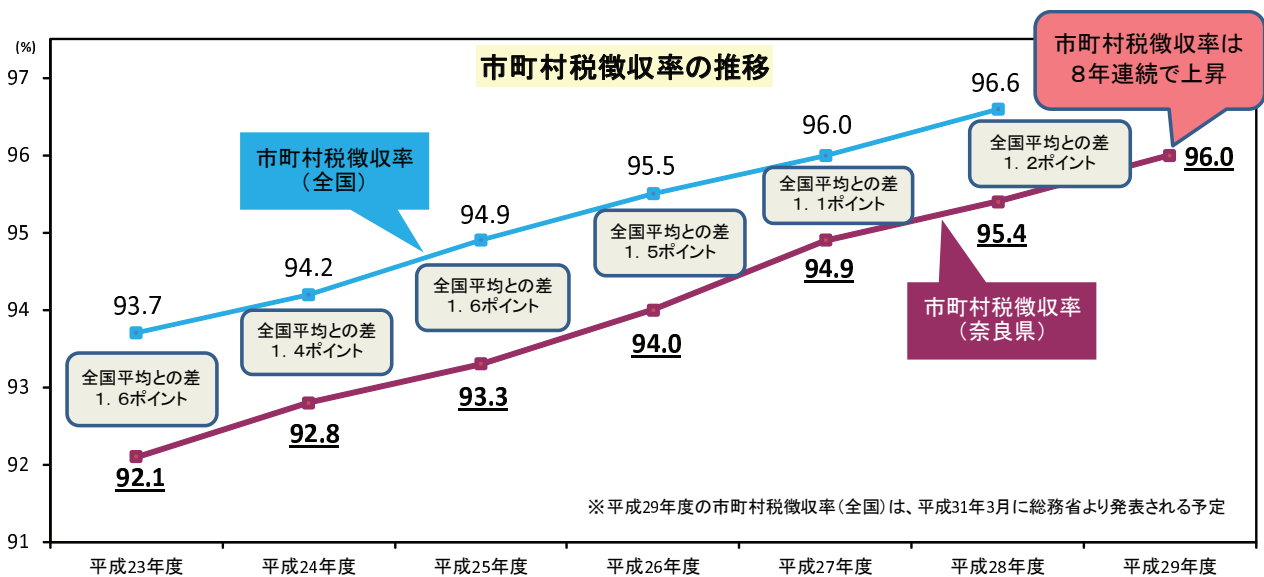
※参考：平成29年度経常収支比率の段階別団体数

区分	80%未満	80%以上90%未満	90%以上100%未満	100%以上
全国	124 7.2%	691 40.2%	862 50.2%	41 2.4%
奈良県	0 0.0%	7 17.9%	25 64.1%	7 17.9%
うち県内市			大和高田市、大和郡山市、橿原市、五條市、生駒市、香芝市、葛城市、宇陀市（8市、66.7%）	奈良市、天理市、桜井市、御所市（4市33.3%）

## 市町村税徴収率（市町村平均）は8年連続で上昇し96.0%

別紙3

○8年連続で上昇し、前年度と比較すると0.6ポイント上昇。



## Ⅱ 平成29年度県内市町村普通会計決算（県内各市町村の状況）

### （1）経常収支比率

#### ①県内各市町村の経常収支比率の対前年度比較

別紙4

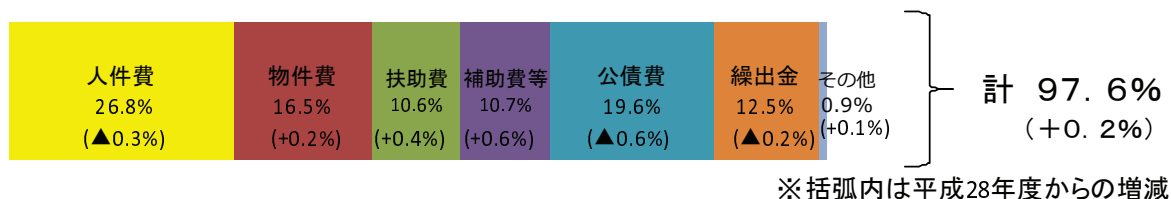
○前年度より低下した団体数は13、上昇した団体数は25、変化なしが1団体。

○経常収支比率が全国平均より高い団体は27団体。（前年度27団体）

#### ②県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳とその対前年度増減

別紙5-1~3

○平成29年度の経常収支比率（市町村平均）は97.6%であるが、性質別では下記のように算出され、人件費と公債費で計46.4%と全体の約半分を占めている。



○県内各市町村のそれぞれの経常収支比率の性質別内訳は別紙5-2のとおり。

○前年度と比較すると、平成29年度に上昇した要因は補助費等、扶助費などが増加した影響が大きい。

### ③県内各市町村の経常収支比率の健康診断表

別紙6

- 県内各市町村の経常収支比率を全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分し整理。
- 「要治療」領域に属する27団体のうち、17団体が前年度よりも上昇。
- 「健康」領域に属する12団体のうち、香芝市、三郷町、川西町、三宅町の4団体は前年度より低下。

### ④県内各市・町・村別経常収支比率順位の推移

別紙7-1~3

- 県内12市では、生駒市が平成26年度より4年連続で1位となった。大和高田市は、繰出金、公債費の減等により大きく順位上昇。五條市は補助費等の増等により順位低下。
- 県内15町では、平群町及び斑鳩町が人件費の減等により、広陵町は繰出金の減等により、それぞれ大きく順位上昇。安堵町は物件費、繰出金の増等により順位低下。大淀町は補助費等の増等により大きく順位低下。
- 県内12村では、御杖村が公債費の減等により、天川村は補助費等の減等により、それぞれ順位上昇。川上村は物件費、公債費の増等により順位低下。

### ⑤各市町村別・性質別経常収支比率の類似団体平均との比較

別紙8-1~8

- 各団体の平成29年度性質別経常収支比率を、類似団体平均（平成28年度）と比較。
- 平成29年度の経常収支比率が平成28年度類似団体の平均を10ポイント以上上回っている団体は3団体減少し5団体（前年度は奈良市、天理市、桜井市、御所市、平群町、上牧町、河合町、野迫川村の8団体）。一方で下回っている団体数は3団体減少し4団体（前年度から引き続き下回っている団体は生駒市のみ）。

## (2) 市町村税徴収率

### ①県内各市町村の市町村税徴収率の対前年度比較

別紙9

- 徴収率が前年度より上昇した団体数は30、低下した団体数は6、前年度と変動なしが3団体。
- 野迫川村、大和郡山市、大和高田市、安堵町が大きく上昇。

### ②県内各市町村の市町村税徴収率にかかる現年課税分・滞納繰越分別徴収率の対前年マトリクス

別紙10

- 県内各市町村の市町村税徴収率を、現年課税分徴収率と滞納繰越分徴収率の対前年度増減で区分し整理。
- 現年徴収率が前年度より上昇した団体は29団体で、このうち滞納徴収率が前年度より上昇した団体は大和高田市など18団体、前年度より低下した団体は橿原市など11団体。
- 現年徴収率が前年度より低下した団体は10団体で、このうち滞納徴収率が前年度より上昇した団体は奈良市など5団体、前年度より低下した団体は天理市など5団体。

### ③県内各市町村の市町村税徴収率の健康診断表

別紙11

- 県内各市町村の平成29年度市町村税徴収率を類似団体平均徴収率（平成28年度）を目安に「健康」と「要治療」に区分し整理。
- 「要治療」領域に属する9団体のうち、天川村など3団体が前年度よりも低下し、大和高田市など6団体が前年度よりも上昇。
- 「健康」領域に属する30団体のうち、黒滝村など3団体が前年度よりも低下し、野迫川村など24団体が前年度よりも上昇。王寺町など3団体は変動なし。

#### ④県内各市・町・村別市町村税徴収率順位の推移

別紙12-1~3

- 県内12市では、桜井市が6年連続1位。大和郡山市が、前年度より順位が大きく上昇。5年前との比較では、徴収率は、奈良市・五條市が大きく上昇。順位は、奈良市・宇陀市が大きく上昇。
- 県内15町では、最近は、三宅町及び王寺町が、1位または2位で推移。5年前との比較では、安堵町・下市町が徴収率・順位ともに大きく上昇。
- 県内12村では、明日香村が2年連続で1位。山添村・上北山村が、前年度より順位が大きく上昇。5年前との比較では、徴収率は、野迫川村・東吉野村が大きく上昇。順位は、明日香村・東吉野村が大きく上昇。

### Ⅲ 市町村財政の更なる健全化に向けた県の取組

- 県は、当面の目標としている経常収支比率（市町村平均）全国ワースト10位からの脱却をできるだけ早期に達成できるよう、財政健全化に向けた市町村支援のための取組を積極的に推進。

- 平成26年度は、公債費負担の軽減のため「奈良県市町村財政健全化支援事業」を実施し、既発行の高金利地方債の繰上償還を支援。

・貸付金：奈良市など22市町村へ貸付  
・補助：大和高田市など25市町村へ補助  
・平成26年度執行額計：4,648,500千円

- 平成27年度は、「奈良県市町村公営企業財政健全化支援事業」を実施し、市町村公営企業が有する高金利地方債の繰上償還に対し市町村が支援する際に必要となる経費への貸付及び補助を実施。

・貸付金：大和郡山市など10市町村へ貸付  
・補助：大和郡山市など13市町村へ補助  
・平成27年度執行額計：987,400千円

- 平成28及び29年度は、市町村における資金調達力の強化に向け、金融リテラシー向上のための研修会を開催するとともに、複数市町村による共同資金調達フレームを検討・構築する「市町村共同資金調達支援事業」、県とモデル市町村が実行委員会を組織し、市町村税の現年度課税分の滞納者に対し、電話による納付の呼びかけを行う市町村税納税促進コールセンターをモデル的に設置する「市町村税納税確保強化事業」を実施。

- 平成30年度は、公共施設等の整備に必要な資金を市町村に貸し付ける「市町村振興資金貸付事業」について、教育環境の充実のための事業や県とのまちづくりに関する連携協定に基づき市町村が取り組む事業等に対応するため、予算額を拡充（㉑5億円→㉒10億円）。

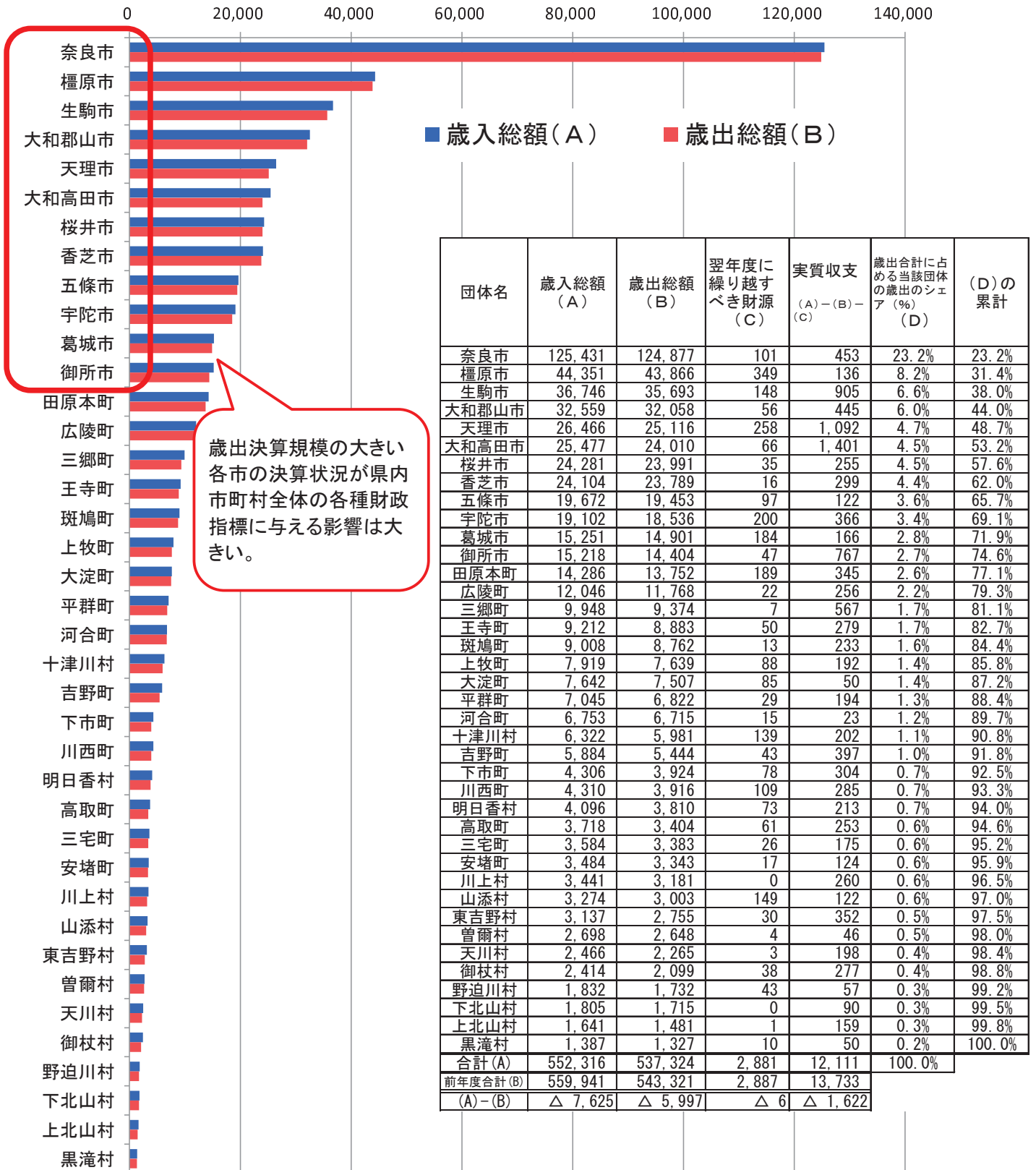
また、公立小中学校の普通教室における空調設備整備に対する緊急的な財政支援を行うための補助制度を新たに創設。あわせて当該空調設備整備事業については市町村振興資金の貸付条件を緩和（充当率：90%→100%、貸付利率：財政融資資金利率×1/2→無利子）。市町村税納税促進コールセンターについても引き続き実施。

# 県内各市町村の平成29年度決算規模

別紙1

○歳入総額は5,523億円となり、前年度を76億円下回った。  
 ○歳出総額は5,373億円となり、前年度を60億円下回った。  
 ○歳出決算額が県内市町村歳出決算額合計のおよそ1/4を占める奈良市をはじめ、決算規模の大きい各市の経常収支比率の改善が特に重要。

(単位：百万円)



歳出決算規模の大きい各市の決算状況が県内市町村全体の各種財政指標に与える影響は大きい。



# 県内各市町村の経常収支比率

別紙2

○経常収支比率(市町村平均)は、2年連続上昇し、前年度と比較すると0.2ポイント上昇。  
 ○全国平均も0.3ポイント上昇し、全国平均との差は縮小したが、依然として全国平均を上回っている。  
 ○経常収支比率(市町村平均)が前年度と比較して上昇した要因は、経常収支比率の分母を構成する経常一般財源等は地方税、株式等譲渡所得割交付金の増等により増加したが、それ以上に分子を構成する経常的経費充当一般財源等が扶助費、補助費等などの増等により増加したため。

(単位:%)

健康状態	平成29年度				平成28年度		
	ワースト順位	市町村名	経常収支比率(A)	対前年度改善ポイント(A-B)	ワースト順位	市町村名	経常収支比率(B)
重症 100%以上	1 →	桜井市	103.6	▲1.1	1	桜井市	104.7
	1 ↑	御所市	103.6	▲0.4	2	天理市	104.6
	3 ↓	天理市	103.3	▲1.3	3	御所市	104.0
	4 →	河合町	103.2	0.3	4	河合町	102.9
	5 ↑	野迫川村	102.3	5.9	5	奈良市	100.9
	6 ↓	奈良市	100.7	▲0.2	6	大和高田市	99.4
	6 ↑	黒滝村	100.7	2.8	7	平群町	98.9
要治療 全国平均以上	8 ↑	宇陀市	99.3	1.7	8	上牧町	98.7
	9 ↑	五條市	99.0	2.1	9	黒滝村	97.9
	9 ↑	大淀町	99.0	6.1	10	宇陀市	97.6
	11 ↓	上牧町	98.7	0.0	11	大和郡山市	97.5
	12 ↑	田原本町	98.2	3.2	12	橿原市	97.3
	13 ↓	大和郡山市	97.8	0.3	13	王寺町	97.1
	13 ↓	橿原市	97.8	0.5	14	五條市	96.9
	15 ↑	安堵町	97.3	3.8	15	葛城市	96.8
	16 ↓	王寺町	97.2	0.1	16	野迫川村	96.4
	17 ↑	吉野町	96.9	2.4	17	斑鳩町	95.8
	18 ↓	大和高田市	96.4	▲3.0	18	広陵町	95.5
	19 ↑	下市町	96.2	1.4	19	田原本町	95.0
	20 ↓	平群町	96.1	▲2.8	20	下市町	94.8
	21 ↓	葛城市	95.6	▲1.2	21	香芝市	94.7
	22 ↑	明日香村	95.5	2.4	22	吉野町	94.5
	23 ↑	高取町	95.3	2.5	23	安堵町	93.5
	24 ↓	斑鳩町	94.6	▲1.2	24	明日香村	93.1
25 ↑	十津川村	94.3	4.8	25	大淀町	92.9	
26 ↑	東吉野村	93.7	7.2	26	高取町	92.8	
27 ↓	広陵町	93.0	▲2.5	27	三宅町	92.7	
健康 全国平均未満	28 ↑	天川村	92.1	2.3	28	生駒市	91.1
	29 ↓	香芝市	91.9	▲2.8	29	天川村	89.8
	30 ↓	生駒市	91.7	0.6	30	三郷町	89.6
	31 ↑	上北山村	90.6	7.9	31	十津川村	89.5
	32 ↓	三宅町	90.3	▲2.4	32	川西町	88.4
	33 ↑	下北山村	89.9	5.9	33	東吉野村	86.5
	34 ↑	川上村	88.5	7.4	34	下北山村	84.0
	35 ↓	川西町	87.5	▲0.9	35	上北山村	82.7
	36 ↓	三郷町	87.4	▲2.2	36	御杖村	82.3
	37 →	山添村	85.5	3.4	37	山添村	82.1
	37 ↓	御杖村	85.5	3.2	38	川上村	81.1
	39 →	曾爾村	82.6	7.2	39	曾爾村	75.4
県平均			97.6	0.2	県平均		97.4
全国平均			92.8	0.3	全国平均		92.5

(注) 経常収支比率の平均は加重平均で算出。なお、全国平均には特別区は含まれていません。

# 市町村税徴収率の推移

別紙3

(単位：%)

平成25年度 [全国：31位]		平成26年度 [全国：32位]		平成27年度 [全国：28位]		平成28年度 [全国：30位]		平成29年度 [全国：-位]	
王寺町	98.8	三宅町	99.1	三宅町	99.2	王寺町	99.3	三宅町	99.4
三宅町	98.6	王寺町	98.9	王寺町	99.1	三宅町	99.2	王寺町	99.3
山添村	98.1	下北山村	98.3	下北山村	98.7	桜井市	98.9	桜井市	99.1
下北山村	98.1	上北山村	98.1	明日香村	98.5	明日香村	98.8	明日香村	98.9
上北山村	98.1	山添村	98.0	桜井市	98.3	平群町	98.3	平群町	98.6
黒滝村	97.9	黒滝村	97.9	平群町	98.1	下北山村	98.3	川西町	98.4
平群町	97.4	平群町	97.7	黒滝村	98.0	東吉野村	97.9	下北山村	98.2
明日香村	97.1	明日香村	97.6	川上村	97.9	川西町	97.7	東吉野村	98.2
桜井市	96.8	桜井市	97.5	上北山村	97.7	川上村	97.7	五條市	98.1
川西町	96.2	広陵町	96.8	山添村	97.5	黒滝村	97.6	広陵町	97.9
広陵町	96.2	川西町	96.6	川西町	97.2	広陵町	97.5	上北山村	97.8
東吉野村	96.2	東吉野村	96.3	広陵町	97.2	五條市	97.3	山添村	97.7
斑鳩町	96.0	斑鳩町	96.1	斑鳩町	96.8	上北山村	97.3	川上村	97.7
川上村	95.8	川上村	95.5	東吉野村	96.8	山添村	97.1	斑鳩町	97.4
河合町	95.4	吉野町	95.5	全国平均	96.0	斑鳩町	97.1	黒滝村	96.9
高取町	95.0	全国平均	95.5	五條市	95.8	全国平均	96.6	奈良市	96.8
吉野町	94.9	河合町	95.3	田原本町	95.8	下市町	96.1	吉野町	96.8
全国平均	94.9	田原本町	95.3	吉野町	95.6	奈良市	95.9	安堵町	96.6
御杖村	94.7	香芝市	94.9	香芝市	95.4	吉野町	95.9	下市町	96.5
十津川村	94.5	御杖村	94.8	河合町	95.3	田原本町	95.7	県平均	96.0
五條市	94.1	五條市	94.7	奈良市	95.1	香芝市	95.6	大和郡山市	95.9
田原本町	94.1	十津川村	94.4	下市町	95.1	河合町	95.6	田原本町	95.9
天川村	94.0	高取町	94.4	安堵町	95.0	安堵町	95.4	香芝市	95.8
橿原市	93.7	曾爾村	94.3	県平均	94.9	県平均	95.4	河合町	95.8
香芝市	93.7	天川村	94.2	橿原市	94.7	橿原市	95.2	橿原市	95.6
大和郡山市	93.4	橿原市	94.2	御杖村	94.7	宇陀市	95.1	宇陀市	95.6
葛城市	93.3	県平均	94.0	大淀町	94.5	曾爾村	95.1	葛城市	95.2
県平均	93.3	葛城市	93.7	十津川村	94.4	葛城市	94.8	大和高田市	95.1
曾爾村	93.2	大和郡山市	93.7	曾爾村	94.2	御杖村	94.8	御杖村	94.9
御所市	92.8	下市町	93.6	宇陀市	94.1	十津川村	94.8	曾爾村	94.8
奈良市	92.7	安堵町	93.4	高取町	94.1	大淀町	94.6	十津川村	94.7
大淀町	92.6	奈良市	93.3	天理市	94.0	天理市	94.4	大淀町	94.6
天理市	92.1	大淀町	93.2	大和郡山市	93.9	大和郡山市	94.2	天理市	94.5
大和高田市	91.9	大和高田市	93.1	葛城市	93.9	生駒市	94.0	生駒市	94.5
生駒市	91.9	天理市	92.9	大和高田市	93.8	大和高田市	93.9	野迫川村	94.1
野迫川村	91.9	生駒市	92.8	御所市	93.5	御所市	93.7	御所市	93.8
宇陀市	91.8	宇陀市	92.7	生駒市	93.5	高取町	93.1	高取町	93.6
安堵町	91.5	御所市	92.7	上牧町	91.3	三郷町	91.3	三郷町	92.2
下市町	90.9	上牧町	91.8	野迫川村	90.8	野迫川村	91.2	上牧町	90.0
上牧町	90.8	野迫川村	91.7	天川村	90.6	上牧町	90.6	天川村	88.4
三郷町	89.7	三郷町	90.0	三郷町	90.1	天川村	89.5	全国平均	-

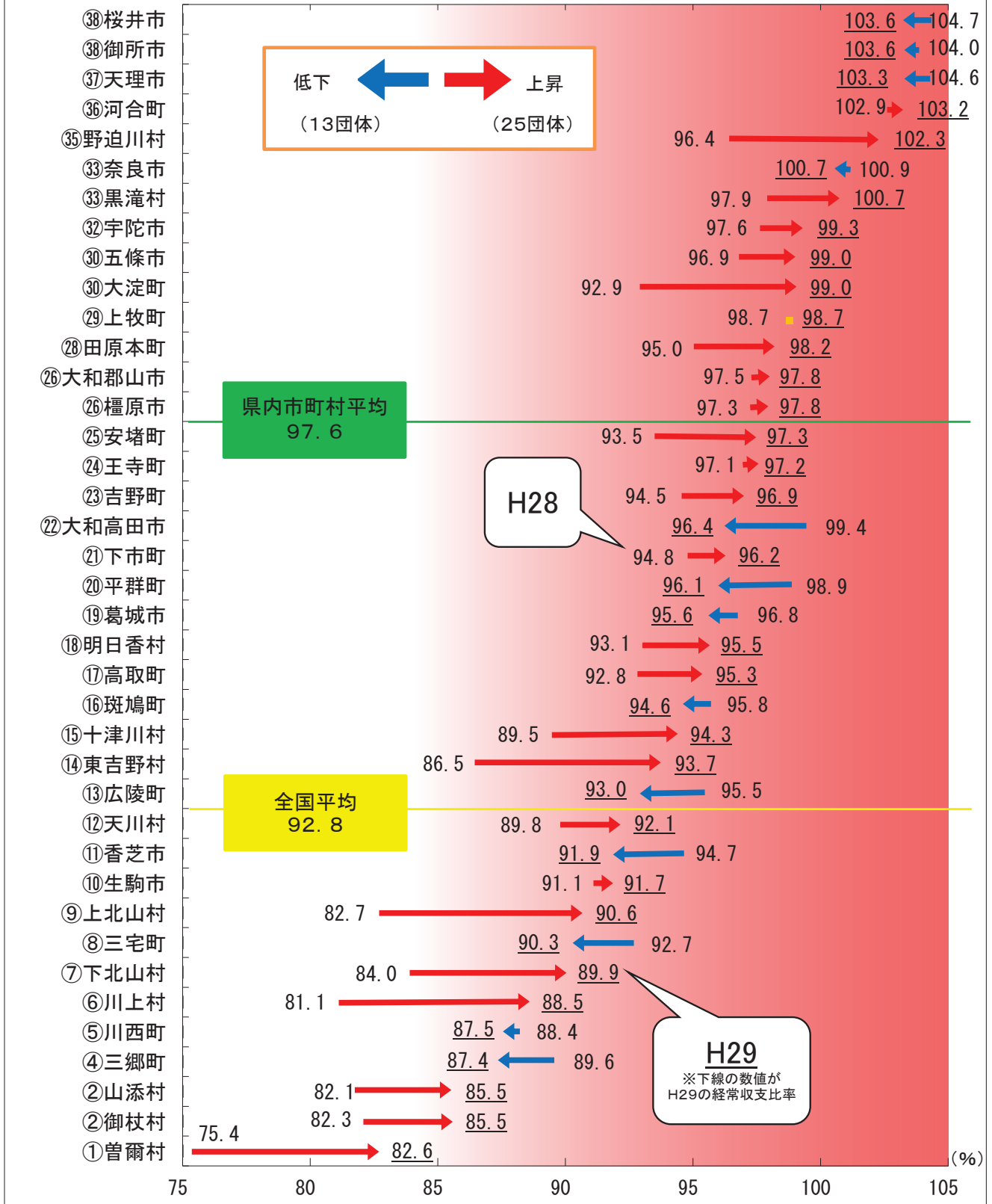
※平成29年度の市町村税徴収率（全国）平均は、平成31年3月に総務省より発表される予定

# 県内各市町村の経常収支比率の対前年度比較

○前年度より低下した団体数は13、上昇した団体数は25、変化なしが1団体。  
 ○経常収支比率が全国平均より高い団体は27団体。(前年度27団体)



※○内の数字は、県内順位





# 県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳及び対前年度増減

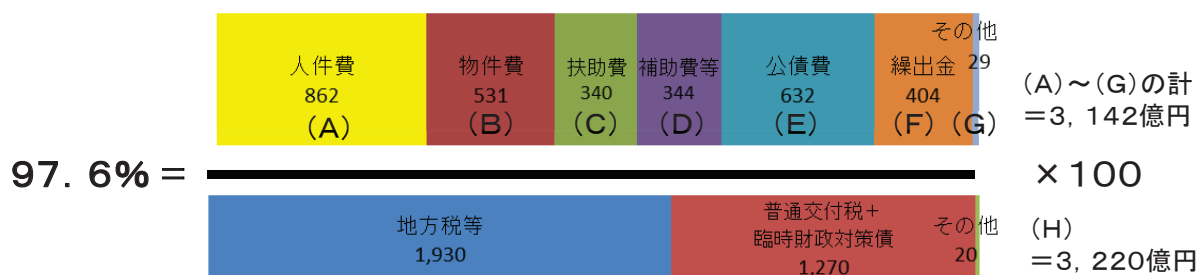
別紙5-1

経常収支比率とは、地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合のことで、下記により算出。

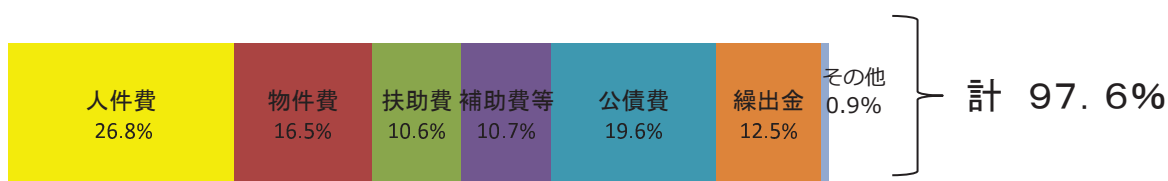
$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{人件費、扶助費、公債費等に充当した一般財源}}{\text{経常一般財源(地方税+普通交付税等) + 減税補てん債+臨時財政対策債}} \times 100$$

平成29年度の経常収支比率(県内市町村平均)は以下のとおり算出。

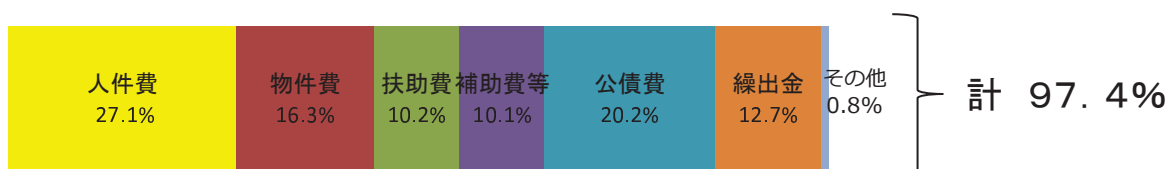
(単位:億円)



平成29年度の経常収支比率(市町村平均)は97.6%で、上記(A)~(G)それぞれを(H)で割ると、それぞれの性質毎の経費にかかる経常収支比率が算出。

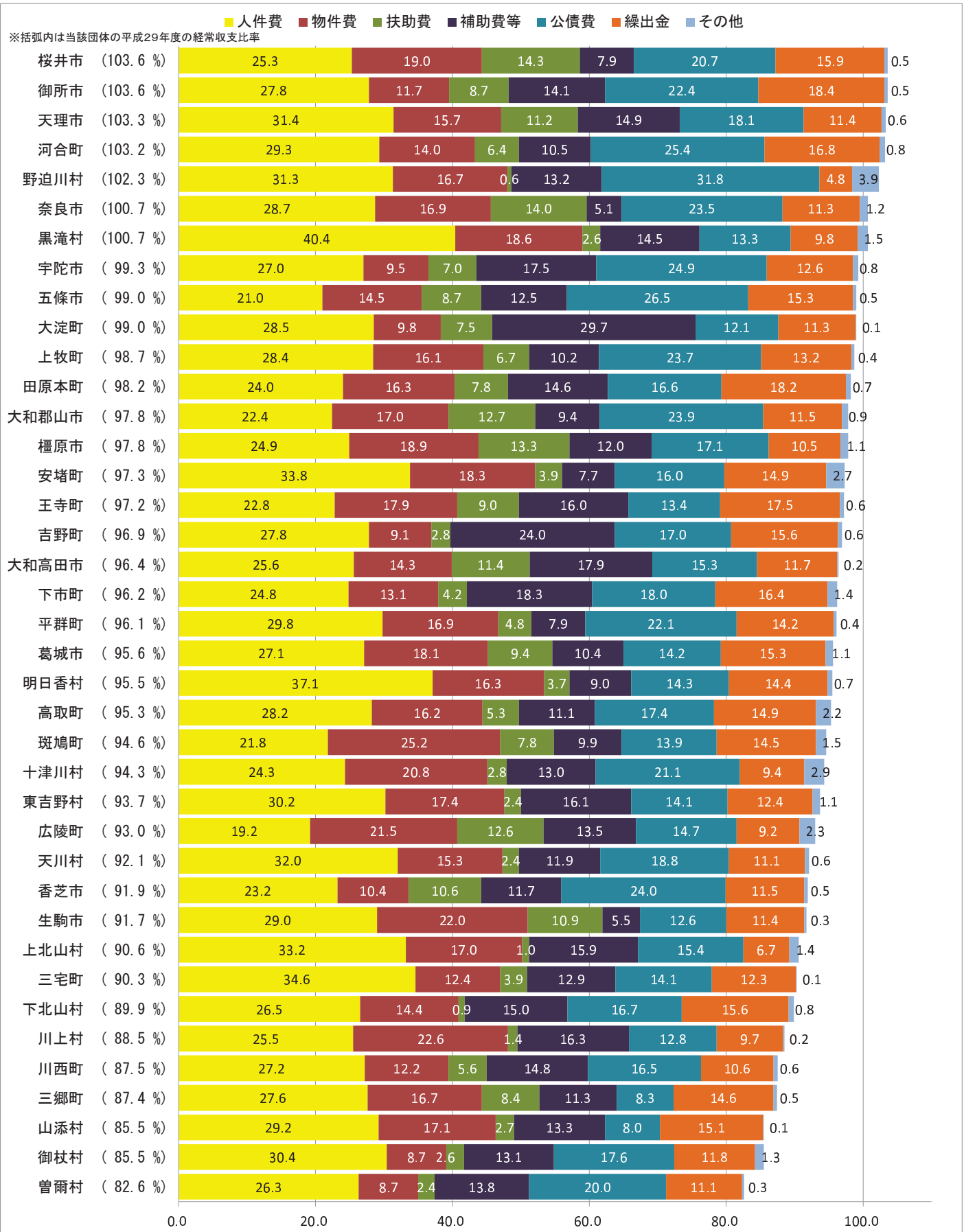


一方、平成28年度決算では、以下のとおり。

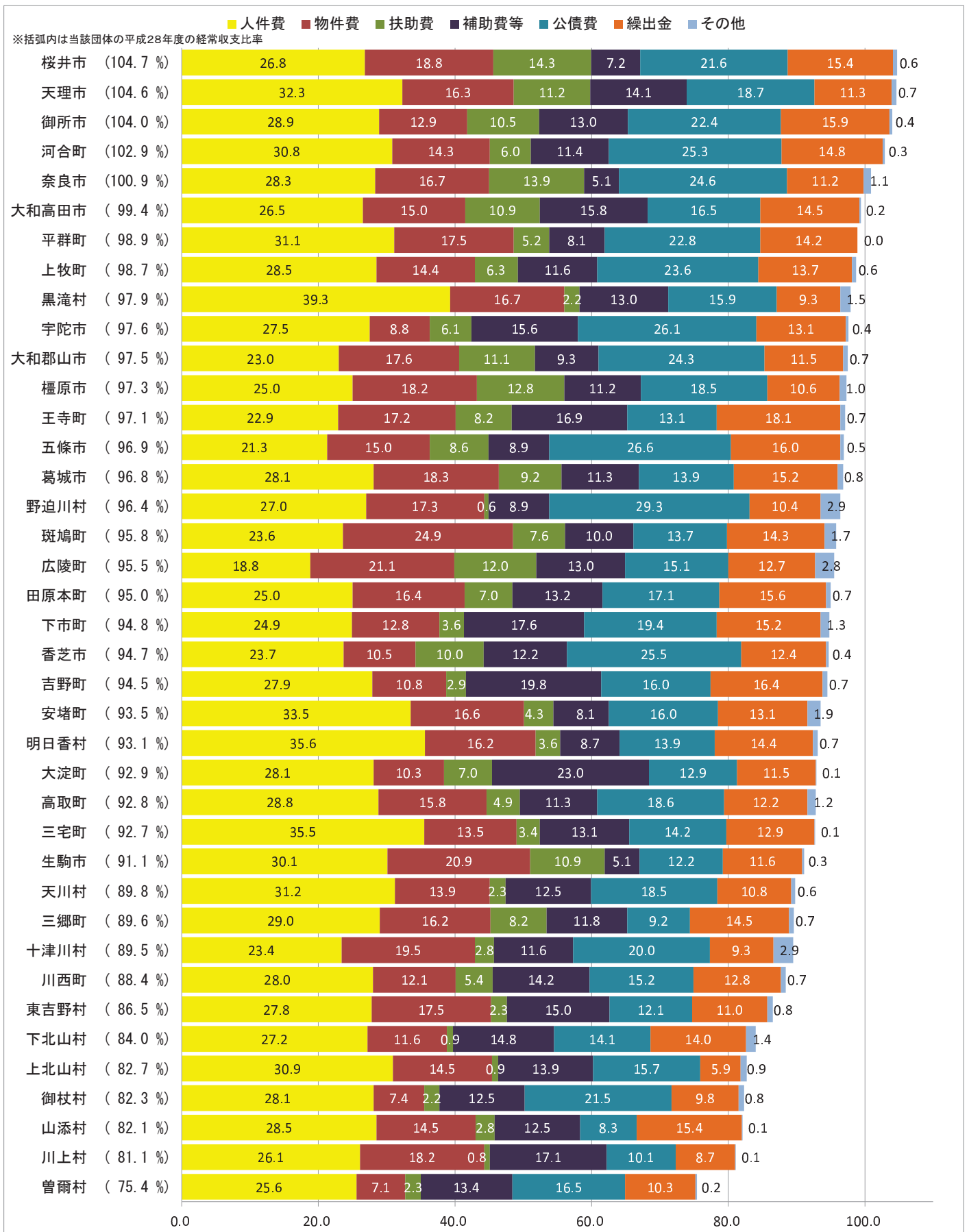


県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳は **別紙5-2** のとおり。

# 県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳

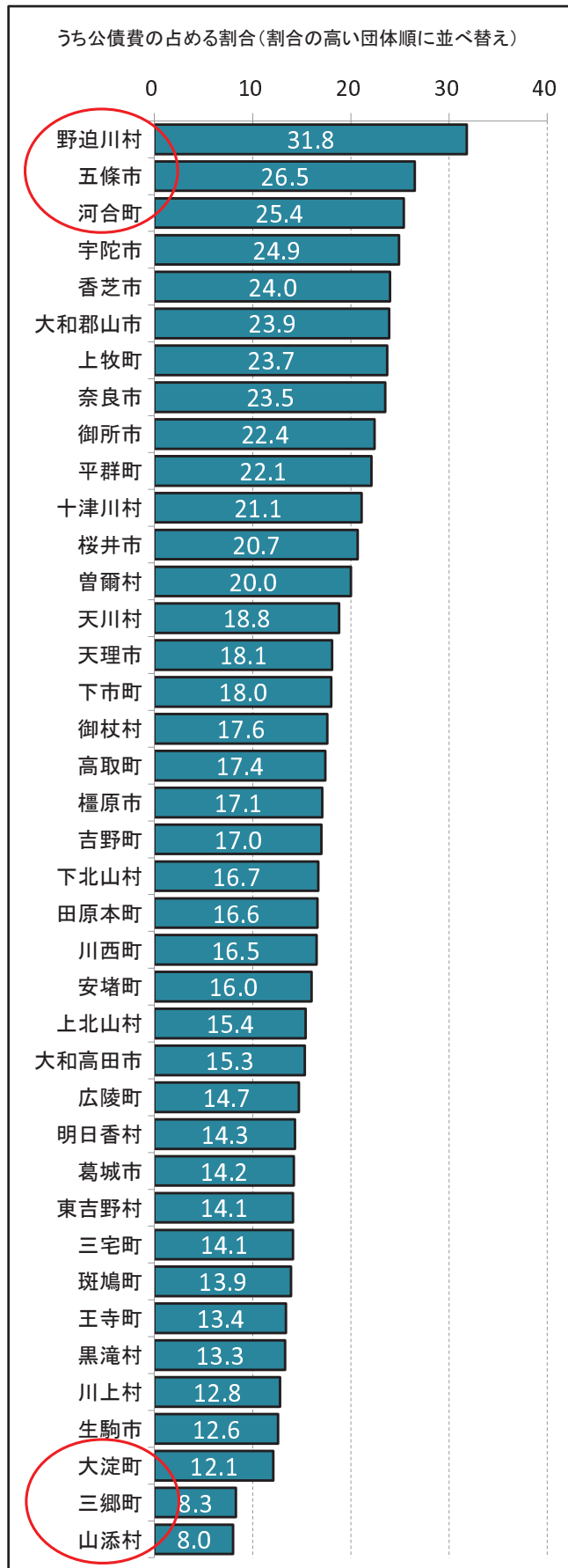
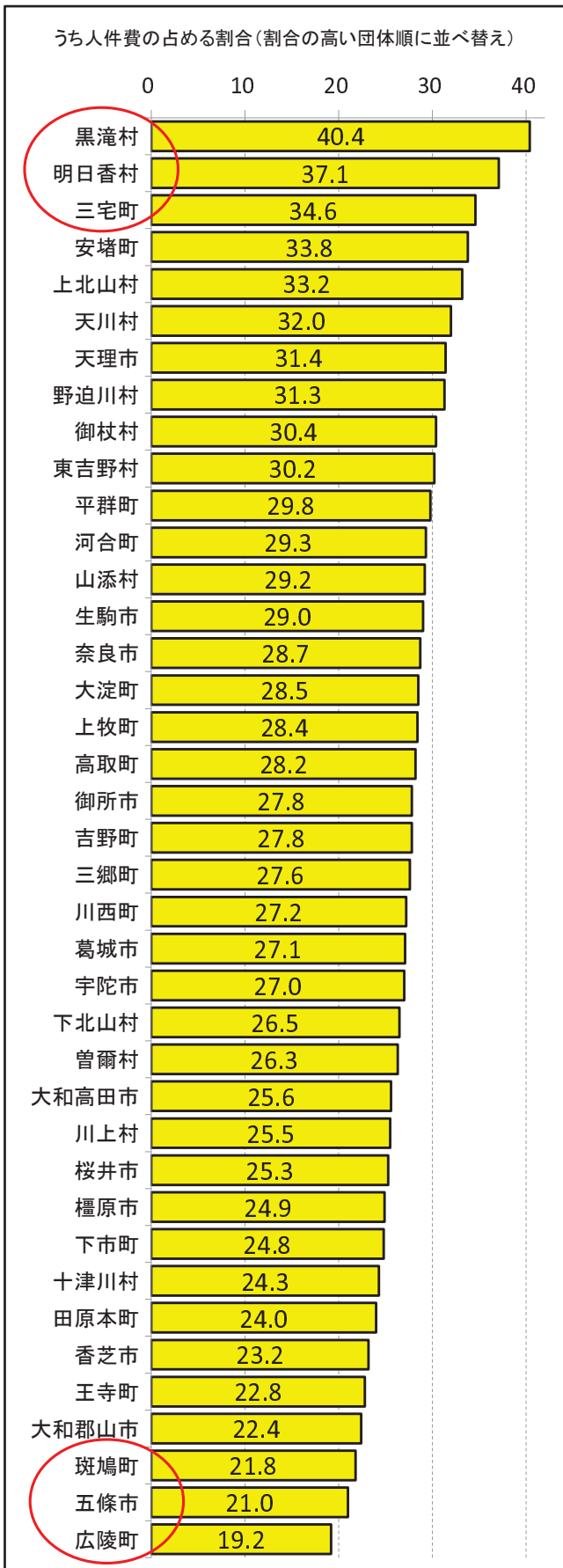


# (参考H28) 県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳



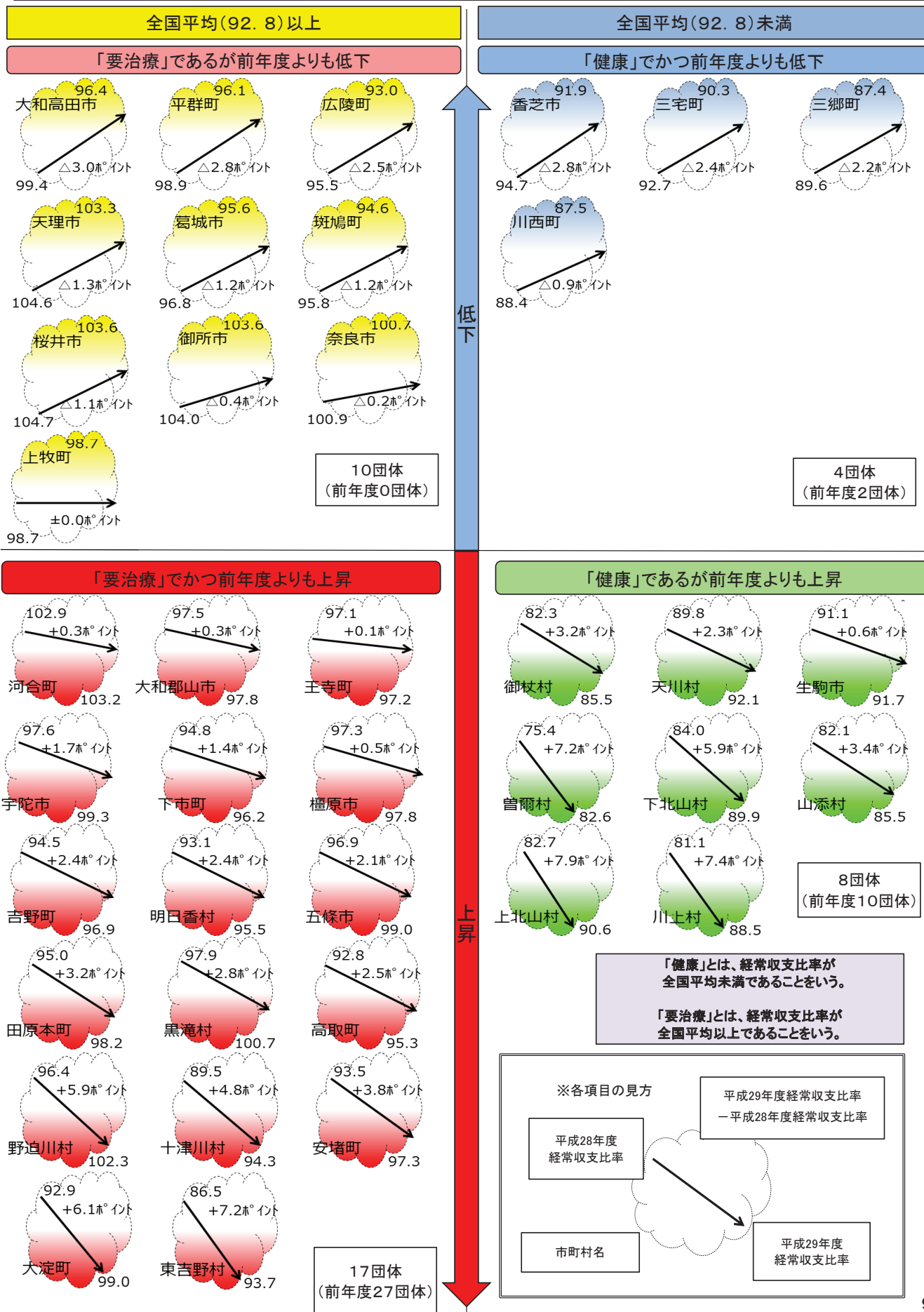
県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳(うち人件費、公債費の占める割合)

○平成29年度の経常収支比率に占める人件費の割合が高い団体は、黒滝村、明日香村、三宅町などで、低い団体は斑鳩町、五條市、広陵町など。  
 ○平成29年度の経常収支比率に占める公債費の割合が高い団体は、野迫川村、五條市、河合町などで、低い団体は大淀町、三郷町、山添村など。



# 県内各市町村の経常収支比率の健康診断表 (全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分)

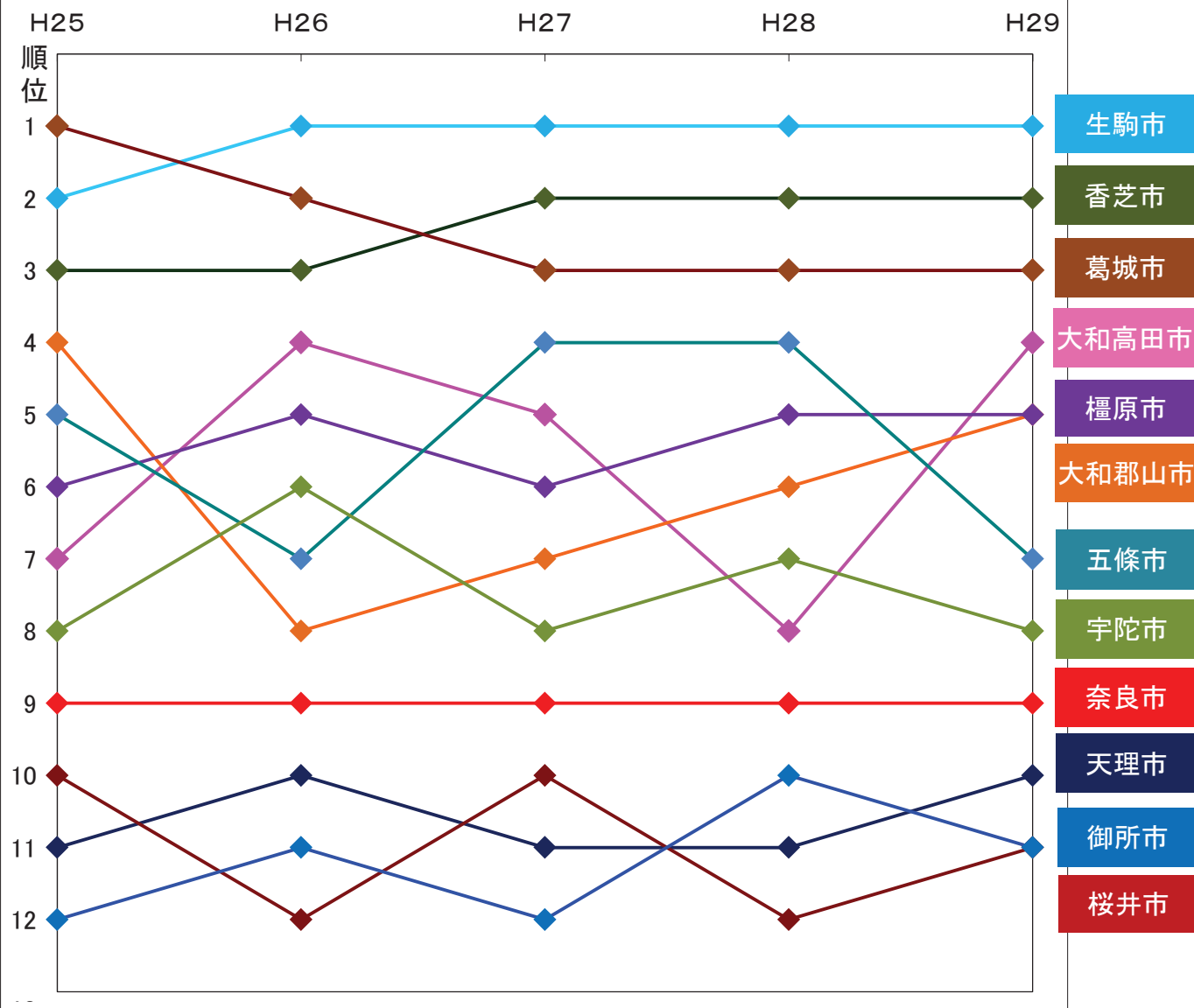
- 県内各市町村の経常収支比率を全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分し整理。
- 「要治療」領域に属する27団体のうち、17団体が前年度よりも上昇。
- 「健康」領域に属する12団体のうち、香芝市、三郷町、川西町、三宅町の4団体は前年度より低下。





県内12市の経常収支比率順位の推移(過去5ヶ年度分)

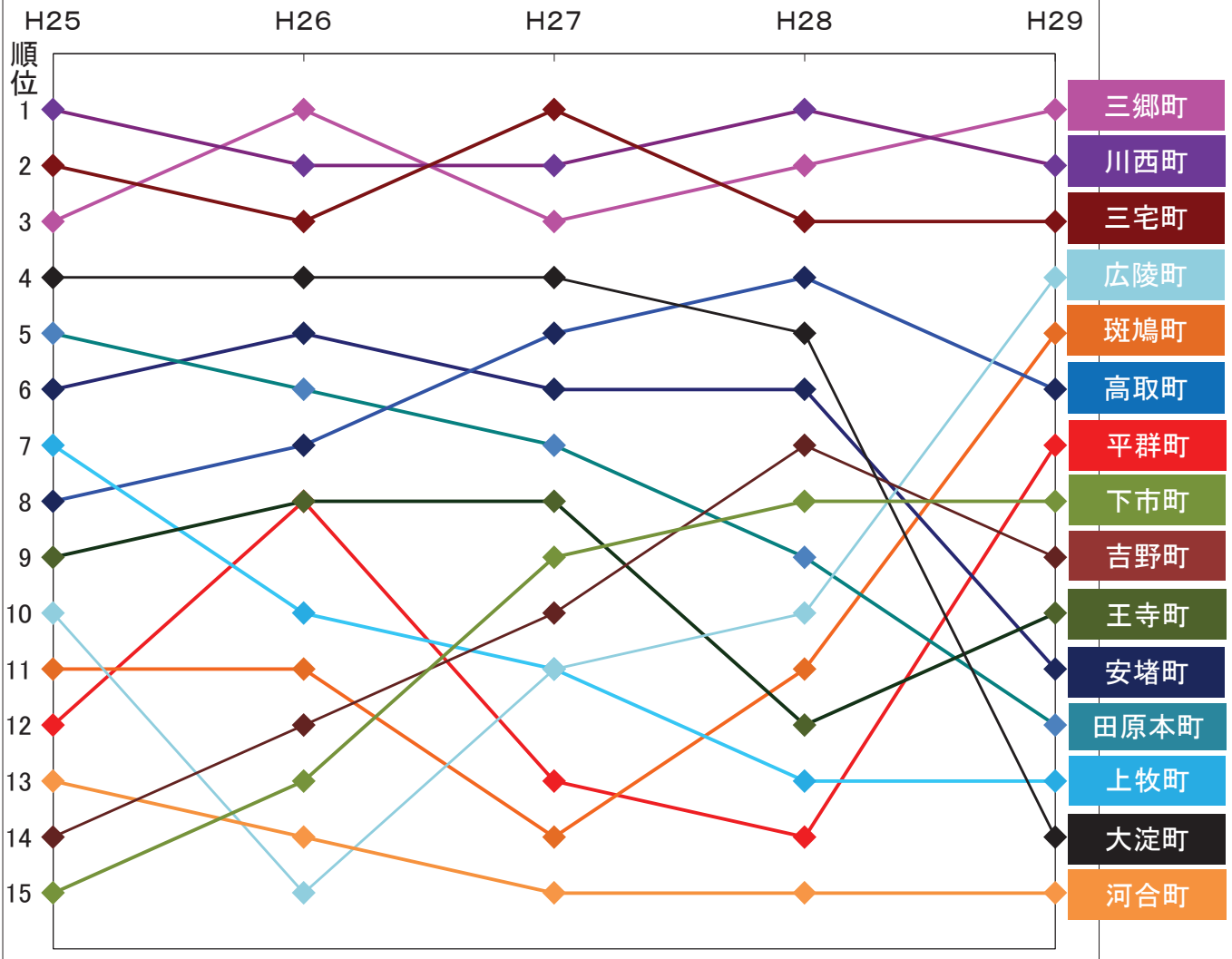
○県内12市では、生駒市が平成26年度より4年連続で1位となった。  
 ○大和高田市は、繰出金、公債費の減等により大きく順位上昇。  
 ○五條市は、補助費等の増等により順位低下。



団体名	H25	順位	H26	順位	H27	順位	H28	順位	H29	順位
奈良市	97.5	9	99.0	9	97.0	9	100.9	9	100.7	9
大和高田市	93.9	7	94.9	4	94.4	5	99.4	8	96.4	4
大和郡山市	91.0	4	98.2	8	95.0	7	97.5	6	97.8	5
天理市	100.6	11	101.8	10	99.4	11	104.6	11	103.3	10
橿原市	93.8	6	95.9	5	94.5	6	97.3	5	97.8	5
桜井市	98.7	10	104.5	12	99.1	10	104.7	12	103.6	11
五條市	93.4	5	97.5	7	92.8	4	96.9	4	99.0	7
御所市	101.3	12	104.2	11	99.6	12	104.0	10	103.6	11
生駒市	85.8	2	86.2	1	88.1	1	91.1	1	91.7	1
香芝市	87.7	3	91.8	3	88.8	2	94.7	2	91.9	2
葛城市	85.7	1	88.4	2	90.6	3	96.8	3	95.6	3
宇陀市	94.2	8	97.1	6	95.1	8	97.6	7	99.3	8

### 県内15町の経常収支比率順位の推移(過去5ヶ年度分)

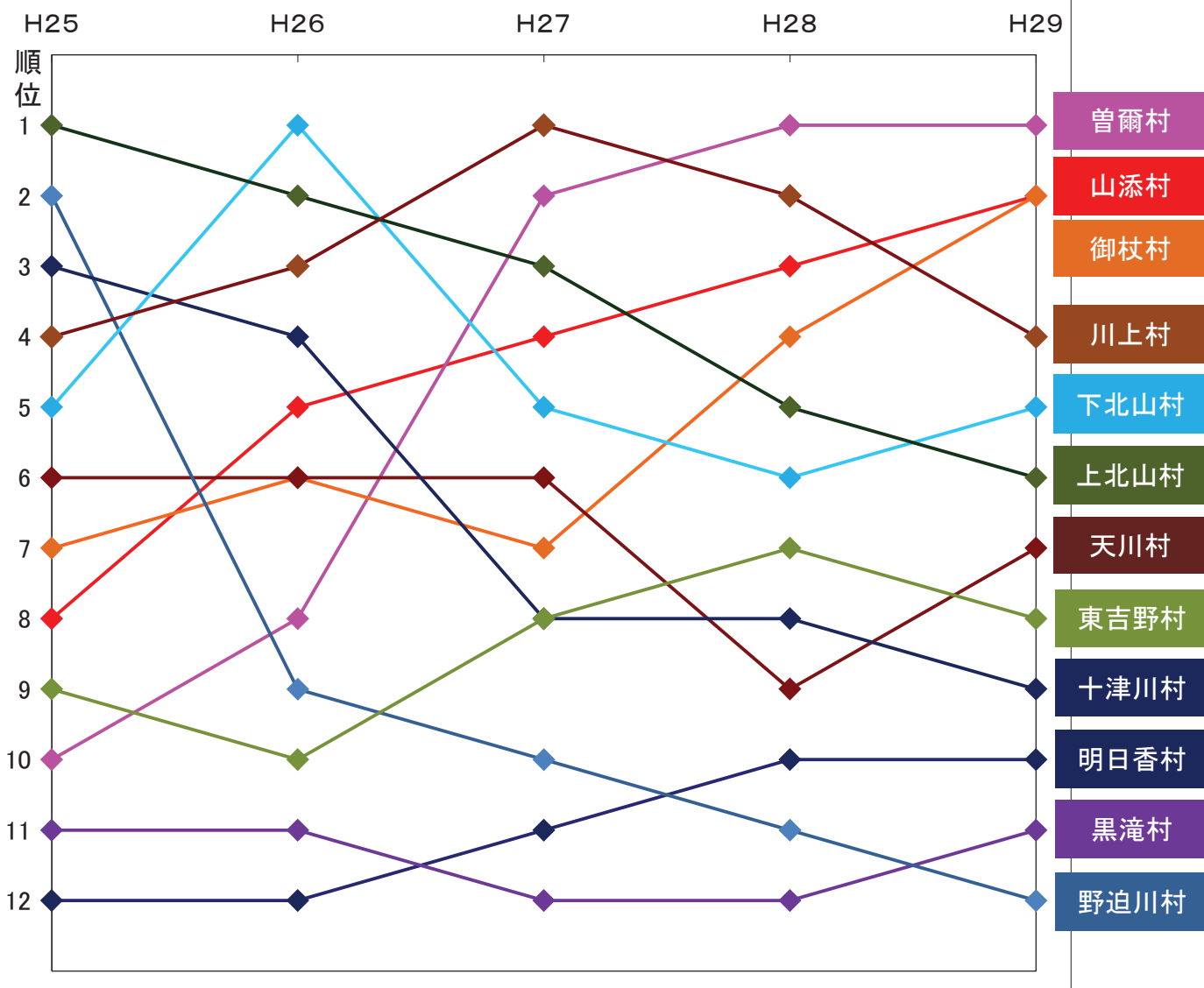
- 県内15町では、平群町及び斑鳩町が人件費の減等により大きく順位上昇。
- 広陵町は繰出金の減等により大きく順位上昇。
- 安堵町は物件費、繰出金の増等により順位低下。
- 大淀町は補助費等の増等により大きく順位低下。



団体名	H25	順位	H26	順位	H27	順位	H28	順位	H29	順位
平群町	95.6	12	94.4	8	93.6	13	98.9	14	96.1	7
三郷町	87.9	3	87.2	1	85.1	3	89.6	2	87.4	1
斑鳩町	95.2	11	98.0	11	94.2	14	95.8	11	94.6	5
安堵町	90.5	6	91.7	5	88.8	6	93.5	6	97.3	11
川西町	83.3	1	87.4	2	83.8	2	88.4	1	87.5	2
三宅町	87.5	2	90.6	3	82.8	1	92.7	3	90.3	3
田原本町	89.8	5	93.0	6	91.6	7	95.0	9	98.2	12
高取町	92.7	8	93.5	7	88.7	5	92.8	4	95.3	6
上牧町	91.4	7	97.2	10	93.2	11	98.7	13	98.7	13
王寺町	93.6	9	94.4	8	92.0	8	97.1	12	97.2	10
広陵町	94.2	10	99.6	15	93.2	11	95.5	10	93.0	4
河合町	96.1	13	99.0	14	99.6	15	102.9	15	103.2	15
吉野町	97.0	14	98.2	12	93.0	10	94.5	7	96.9	9
大淀町	89.1	4	91	4	87.6	4	92.9	5	99.0	14
下市町	98.8	15	98.9	13	92.3	9	94.8	8	96.2	8

### 県内12村の経常収支比率順位の推移(過去5ヶ年度分)

○県内12村では、御杖村が公債費の減等により順位上昇。  
 ○天川村は補助費等の減等により順位上昇。  
 ○川上村は物件費、公債費の増等により順位低下。



団体名	H25	順位	H26	順位	H27	順位	H28	順位	H29	順位
山添村	89.0	8	87.6	5	79.8	4	82.1	3	85.5	2
曾爾村	90.4	10	91.3	8	75.8	2	75.4	1	82.6	1
御杖村	87.6	7	89.6	6	84.2	7	82.3	4	85.5	2
明日香村	97.0	12	97.2	12	91.9	11	93.1	10	95.5	10
黒滝村	95.1	11	96.5	11	95.7	12	97.9	12	100.7	11
天川村	82.5	6	89.6	6	83.2	6	89.8	9	92.1	7
野迫川村	76.2	2	92.3	9	90.8	10	96.4	11	102.3	12
十津川村	76.9	3	86.8	4	85.6	8	89.5	8	94.3	9
下北山村	78.4	5	83.3	1	79.9	5	84.0	6	89.9	5
上北山村	70.3	1	84.2	2	77.1	3	82.7	5	90.6	6
川上村	77.3	4	85.3	3	73.4	1	81.1	2	88.5	4
東吉野村	89.9	9	94.3	10	85.6	8	86.5	7	93.7	8